

## 2021 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松小学校

採択活動名

知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」  
～海に親しみ、海と人との関わりを学ぼう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. めざせいきものはかせ	第1学年	知床学
2. さけがおおきくなるまで	第2学年	知床学
3. ふるさと探検隊	第3学年	知床学
4. 羅臼の魅力再発見	第4学年	知床学
5. 自然とともに生きる	第5学年	知床学
6. 自分の考えを発信しよう	第6学年	知床学

取り組みの概要

本校は、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含め豊かな自然に囲まれた環境のもと教育活動を展開した。特に、「知床学（海洋教育）」を中心として、総合的な学習の時間や生活科と関連付けた教科等横断的な指導計画に基づき、豊かな自然、動植物、水産業、海を活用した観光など郷土の特性を学ぶ教育活動を行うことで、ふるさとに対しての誇りと愛着を育み、郷土の発展に役立つ社会人となるための資質・能力を育むことを目指し学習活動を実施した。

第1学年では、生活科の「きせつといきものとなかよし」と関連付けながら、羅臼町郷土資料館周辺の前庭や裏山、前浜を活動場所として、実際に川に入って生き物を探したり、昆虫を捕まえたりするなどの活動を通して、自然の素晴らしさや生命の大切さを感じとっていた。

第2学年では、国語科の「さけがおおきくなるまで」と関連付けながら、漁業関係者の協力を得て、サケの稚魚の放流体験を通して、豊かな海を持続する大切さについて理解を深めた。

第3学年では、社会科の「漁業の仕事」と関連付けながら、羅臼町の基幹産業について、実際に働いている人にインタビューするなど情報収集し、まとめることを通して、仕事の大変さや羅臼の自然を守りながら、漁業を営むことの大切さについて理解を深めた。

第4学年では、社会科の「地域で受けつがれてきたもの」と関連付けながら、羅臼町の魅力について話し合うとともに、地域行事「こんぶフェスタ」への参加、地域や観光客からアンケート調査などの学習を通して、学んだことをユネスコスクール発表会で発信し、羅臼町の魅力を地域に発信した。



【前浜で生き物探しをする児童の様子】



【漁業で使う網の結び方を学ぶ児童の様子】

第5学年では、国語科の「自然とともに生きる」と関連付けながら、漁業協同組合、地元の漁業者などを講師に招き、昆布に関する学習、鮭の調理実習などの体験学習を通して、知床の自然の価値について考え、将来にわたり知床の自然との関わり方について理解を深めた。

第6学年では、国語科の「地域防災について話し合おう」、社会科の「災害から私たちを守る」と関連付けながら、「海を知る」学習として海との向き合い方について考えるとともに、漁師をはじめとした水産業や様々な職種の職業人を講師に招き、仕事に関する講話や児童との対話を通して、身のまわりの仕事や環境への関心を高める学習を行い、これまでの海洋教育で学んだことを踏まえ、よりよい町づくりのために自分たちにできることを考え地域に発信した。

多様な他者と児童が様々な体験を通じた学習を展開することにより、ふるさとに対しての誇りと愛情を育むとともに、地域の発展に役立つ社会人となるための資質・能力を育むことができた。



【よりよい町づくりを発表する児童の様子】